事業番号	06 05 10	事業改善シート(24年度実施事業分)		予算要求]予算案 ■点検
事業名	障害者民間活用委託訓練事業		担	部局	商工労働部
尹 未 石	[4] 「中音在以间伯用安託訓練事業				人材育成課
<参考>	プロジェクト		当課	E-mail	jinzai@pref.nagano.lg.jp
総合5か年		1-6 職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり			
計画	施策の総合的展開				

1 事業の概要

1 争未07	10.5							
目指す姿	障害者の就職訓練機会を確保するとともに、受講者の就職の促進、雇用の継続を目指す。							
現状	 ・受講ニーズの高さに変化はないが、景気低迷の継続を受け、障害者に対する企業の雇用が難しく、受講者数、就職者数が減少している。 ・このような中で、障害者の雇用を促進するためには、障害者の能力や適性等特性を踏まえた訓練機会の確保が必要である。 ・また、支援体制としてコーディネーター、トレーナー及び学卒障害者職業能力開発アドバイザーを配置するなど、ニーズに沿ったきめ細かい対応を実施している。 							
県が関与 する理由	□法令等義務 □内部管理 □民間、市町村でも実施可能だだ □その他(【左記の説明、根拠法令等】 国からの委託により都道府県が実施することになっている。 職業能力開発促進法第15条の6第3項				
	① 成果目標(H24) 過去3年間(H21~23)の実績を踏まえ ・訓練の定員充足率80%を目標とする。 ・訓練受講者(修了者)の就職率50%を目標とする。							
	②事業内容			H24		<u>単位:千円)</u> H25		
	項目	実施方法	H24事業実績	(当初)	(決算)	(当初)		
	障害者職業訓練に係る支援員の配置	直接	コーディネーター:4人、アドバイザー:1人、トレーナー: 1人	14,551	12,208	15,115		
事業内容	民間教育訓練機関等への委託	委託	修了者数 知識・技能等習得コース:115人、実践能力習得コース:102人、特別支援学校早期訓練コース:14人、e-ラーニングコース:9人	60,648	38,094	56,868		
, ,,,,,,	訓練実施経費	直接	長野、松本、伊那、佐久技術専門校における訓練実施 に必要な事務費	528	479	468		
	学 巛 促 除 彩 色 坦	補助会	示 主 訓 補 上 組 合 へ の 補 助	260	107	358		

	≥	区 分(単位:千円)		22年度	23年度	24年度	25年度
	1		前年度繰越	0	0	0	0
	予 3 算 ——		当初予算	73,731	75,887	75,996	72,809
事	額		補正予算	-16,797	-20,976	-14,551	
業			合計(A)	56,934	54,911	61,445	72,809
^	7		国庫支出金	56,873	54,850	61,381	72,755
⊐	Aσ.		県 債				
_	財源		その他(繰入金)	61	61	64	54
ス			一般財源	0	0	0	0
۲	決		算 額(B)	49,189	47,376	50,978	
	概 第		職員数(人)	1.50	1.50	1.50	1.50
			概算人件費 (C)	12,476	12,387	12,387	12,387
	概算	概算事業費(B(A)+C)		61,665	59,763	63,365	85,196

成果目標の達成状況					
項目	現況 (見込)		H25		
快口		目標	成果	達成状況	目標
定員充足率	H23実績 75.8%	80%	83. 17%	達成	80%
訓練修了者の就職率	H23実績 45%	50%	47. 92%	未達成	50%

75,996

50,978

72,809

合計

目標に対 する成果 の状況

景気低迷を受け、職業訓練を受講する障害者数は目標を上回ったが、企業の障害者雇用情勢は厳しい状況にある。就職率は目標に届かない状況であったが前年比では2.9ポイント上回った。

2 今後の事業の方向性

	今後、事業	□ 事業を実施しない	□ 事業を見直して実施	■ 事業を現行どおり実施
ı	をどのよう	•障害者の身近な場所で障害	の態様に即した多様な訓練を遺	選択できるよう、引き続き4地区に障害者職業訓練コーディネーターを、また、
	たいか。	長野、伊那技術専門校にコー	チを配置し、きめ細かい支援を	継続していく。